

令和 7 年度
事業報告書

学校法人 関西看護医療大学

目 次

	頁
はじめに.....	3
I 法人の概要	4
1. 建学の精神	
2. 教育方針	
3. 沿革	
4. 設置大学・学部・学科	
5. 学生数の状況	
6. 役員の概要	
7. 評議員の概要	
8. 教職員の概要	
9. 組織図	
10. 校地・校舎	
II 事業の概要	9
1. 概要	
2. 行った主な事業	
3. 学事記録	
III 財務の状況	12
IV 収益事業会計の状況	19

はじめに

本学は、平成18年4月、淡路市と社会医療法人社団順心会との公私協力により、地域に根差した私立4年制看護大学として開学いたしました。開学以来、ヒューマンケアの精神を基盤に、人々の生命と健康を守り抜く専門的看護師の育成を至上命題として歩んでまいりました。令和7年度におきましては、令和9年4月の開校を目指し、新校舎の建設を本格的に開始いたしました。令和8年度中に完成を予定しているこの新校舎は、これまでの歩みを未来へと繋ぎ、より高度で実践的な看護教育を展開するための新たな礎となるものです。

今日、私たちは未曾有の激動期の中にあります。国内では激甚化・頻発化する自然災害が人々の平穏な暮らしを脅かし、一步国外へ目を向ければ、絶え間ない紛争や人道危機が世界を混迷させています。このような「不確実な時代」において、人々の生命の尊厳を最前線で守る看護専門職の役割は、かつてないほど重みを増しています。疾病への対応のみならず、災害支援や心のケア、さらには多様な価値観を尊重し合える平和的な社会の構築に寄与することが、現代の看護教育に課せられた真の使命であると確信しております。

本学は、「一隅を照らす」という建学の精神を精神的支柱としております。この理念のもと、混迷する世相にあっても、目の前の一人ひとりに寄り添い、希望の灯を灯せる人材の育成に注力しております。特に本学が教育の結実として重視するのは、溢れる慈しみの心を持って生命に寄り添い、それを具体的な援助へと繋げる「命をいつくしむ行動力」です。これは、単に知識や技術を習得するにとどまらず、対象者の苦痛や不安を自らの痛みとして感じ取り、尊厳を守るために何ができるかを自ら考え、即座に手を差し伸べる実践的な力を指します。この行動力を支えるため、本学では科学的根拠に基づいた批判的思考力と、いかなる困難な状況下でも揺らぐことのない高い倫理的判断力を養う教育を徹底しております。また、刻々と変化する医療環境や社会情勢に即応し、最善の看護を提供し続けるためには、生涯にわたって自らを高め続ける「自己研鑽の姿勢」が不可欠です。本学は、学生一人ひとりが看護のプロフェッショナルとしての誇りと責任を自覚し、自律的に学び続ける基盤を構築することを使命としています。

世界規模で不安が広がる時代だからこそ、本学は地域社会の「中核」として、揺るぎない倫理観と確かな技術、そして何より「命をいつくしむ行動力」を備えた看護専門職を輩出し続けなければなりません。今後も、時代の変化を鋭敏に捉えつつ、建学の精神を次代へと継承し、新校舎という新たな環境のもとで教育・研究の更なる充実に邁進してまいります。皆様におかれましては、本学の使命をご理解いただき、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人関西看護医療大学

理事長 栗原 英治

令和7年度事業報告書

I 法人の概要

1. 建学の精神

本学の教育目標は、心豊かな看護師を養成することです。そのため、本学は「一隅を照らす」という理念を建学の精神としています。「一隅を照らす」とは、自分の一隅、つまり、みずからの持ち場を最高のものと信じて、そこで誠心誠意を尽くす姿勢です。ましてや高齢化社会を迎えた今、看護という一隅が実に大切な一隅（ホットコーナー）です。この仕事を通じて喜びと誇りと使命感をもって、「一隅を照らす」気持ちを持ち続けることで、自然と患者さんと互いに笑顔で向き合える心豊かな看護師になれると考えています。

2. 教育理念

生命の尊厳と畏敬、そして深い愛と癒しの心を持つ豊かな人間性と高い倫理観を備え、看護学の基盤となる専門基礎知識と看護学の知識・理論・技術・実践・研究について修得し、科学的思考力に基づいた探求心と創造性を高め、自己研鑽を継続して、看護学の発展と保険・医療・福祉に社会貢献できる人材を育成する。

3. 沿革

平成14年11月	順心会大学設置準備室を旧津名町に開所した。
平成16年 5月	財団法人順心会関西看護医療大学設立準備財団が設立。
平成17年 3月	兵庫県立津名高等学校跡地及び校舎を旧津名町より寄附を受けた。
平成17年 4月	順心会看護医療大学建設工事・起工式が挙行された。
平成17年12月	学校法人順心会看護医療大学が設立された。 順心会看護医療大学の設置が認可された。 校舎が竣工した。
平成18年 4月	順心会看護医療大学が開学した。 看護学部看護学科を設置した。
平成20年 4月	大学の名称を「関西看護医療大学」に変更した。
平成25年 4月	関西看護医療大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程） を設置した。
平成27年 4月	看護学部看護学科入学定員を90人に変更した。
平成27年11月	創立10周年記念式典を挙行した。

4. 設置大学・大学院・学部等

関西看護医療大学大学院 看護学研究科 看護学専攻
関西看護医療大学 看護学部 看護学科

5. 学生数の状況

（1）大学院修士課程

〔令和7年5月1日現在〕

研 究 科	専 攻	入学定員	収容定員	現員数	摘要
看護学研究科	看護学専攻	7人	14人	13人	

（2）学部

〔令和7年5月1日現在〕

学 部	学 科	入学定員	収容定員	現員数	摘要
看護学部	看護学科	90人	360人	402人	

6. 役員の概要

(1) 理事（8名）・監事（2名）

[令和7年5月30日現在]

職名	氏 名	選任区分
理事長	栗 原 英 治	第8条1項3号
理 事	江 川 隆 子	第8条1項1号
理 事	川 口 哲 郎	第8条1項2号
理 事	飯 田 和 郎	第8条1項2号
理 事	門 康 彦	第8条1項2号
理 事	松 井 祥 治	第8条1項3号
理 事	松 本 正 義	第8条1項3号
理 事	木 下 紘 一	第8条1項3号
監 事	仲 野 廣 巳	第23条
監 事	矢形 幸之助	第23条

7. 評議員の概要

〔令和7年6月1日現在〕

氏 名	備 考
黒江 ゆり子	第22条1項1号 職員選出
奥 津 文 子	第22条1項1号 職員選出
白 田 都	第22条1項2号 卒業生
廣長 香那美	第22条1項2号 卒業生
本 名 孝 至	第22条1項3号 学識経験者
出 雲 容 子	第22条1項3号 学識経験者
大島 佐代子	第22条1項3号 学識経験者
中野 由美子	第22条1項3号 学識経験者
大 橋 明	第22条1項3号 学識経験者
木 田 薫	第22条1項3号 学識経験者
北 野 貞	第22条1項3号 学識経験者
森 口 敦 司	第22条1項3号 学識経験者
小 西 博 美	第22条1項3号 学識経験者
木 下 圭 子	第22条1項3号 学識経験者

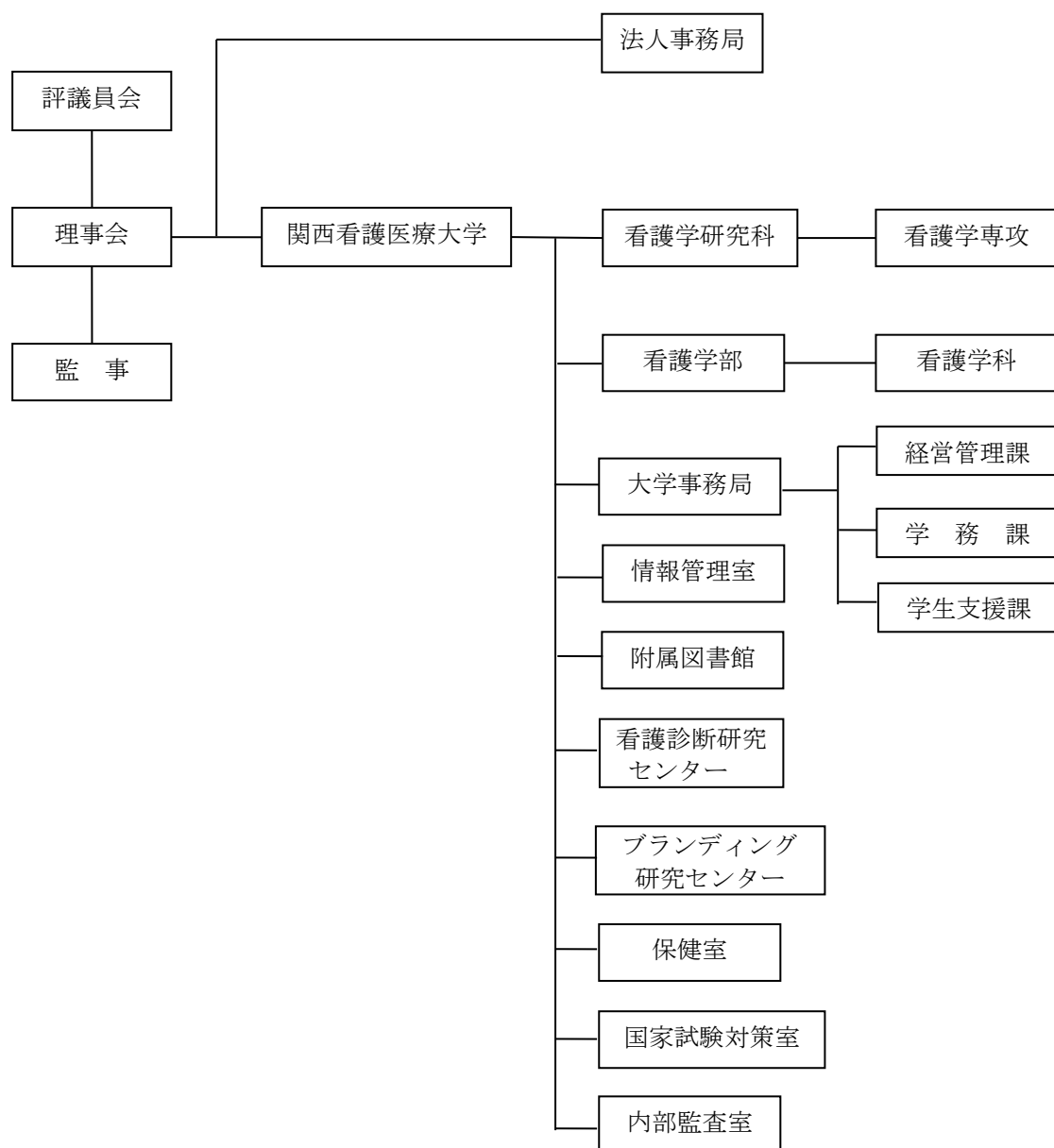
8. 教職員の概要

〔令和7年5月1日現在〕

区 分		関西看護医療大学	計
教 員	本 務	29 人	29 人
	兼 務	63 人	63 人
職 員	本 務	18 人(1 人)	18 人(1 人)
	兼 務	10 人	10 人

※（ ）内は、他機関からの派遣職員を内数で示す。

9. 組織図



10. 校地・校舎

校 地 面 積 合 計	30,205.00 m ²
学校建物延床面積	12,813.14 m ²
校 舎 延 床 面 積	10,709.62 m ²
体育館延床面積	1,561.50 m ²
学生会館他延床面積	542.02 m ²

Ⅱ 事業の概要

1. 概要

新校舎が、いよいよ次年度完成を迎える見通しとなり、大学機能の多くを新校舎に移転させることとなる。ただし、引き続き従来のキャンパスを活用し、淡路市全体の地域に根差す大学の運営を、公私協力の体制により推進させていくことになる。

このような中で、法人全体の財務状況のうち、事業活動収支に関して、第二次補正予算と比べて、経常費補助金収入は7百万円過大の207百万円であった。これは、修学支援制度を利用する在学生の数が、予算の想定より多かったこと等が影響し、国庫補助金収入が7百万円過大となったこと等によるものである。また、雑収入は、20百万円過大の23百万円となった。これは、教職員の退職による私立大学退職金財団交付金収入が21百万円過大となったこと等による。その結果、教育活動収入は第二次補正予算より28百万円過大の939百万円となった。

これに対して、第二次補正予算と比べて、人件費は42百万円過大の416百万円となった。これは、予算計上されていない退職給与引当金繰入額が28百万円発生したこと等による。また、教育研究経費は、2百万円未達の293百万円となった。これは、旅費交通費及び消耗品費などが予算よりも下回ったことが影響したことが要因となった。さらに、管理経費は、3百万円未達の141百万円となった。これは、学生募集に係る費用を補強したことにより広報費が3百万円過大となった一方で、スクールバスの維持費の負担が予算よりも抑えることができたことなどから補助活動費が8百万円未達の41百万円となったこと等による。その結果、教育活動支出は第二次補正予算より36百万円過大の852百万円となった。

上記のことから、基本金組入前当年度収支差額は第二次補正予算より3百万円未達の84百万円の収入超過となり、基本金組入額21百万円を控除した当年度収支差額は、第二次補正予算より7百万円未達の62百万円の収入超過となった。

また、資金収支に関して、翌年度繰越支払資金は第二次補正予算より67百万円過大の1,537百万円となった。

2. 行った主な事業

- (1) 新校舎建設に関する基本設計及び実施設計を行った。
- (3) 令和2年度より開始された高等教育の修学支援新制度の対象校として、令和7年度も引き続き本学が文部科学省に認定された。この制度を利用した学生が、適用条件に応じた授業料の減免を受けた。
- (3) 給付型奨学金制度として「一般財団法人兼高かおる基金奨学金」、「住友電気工業株式会社奨学金」及び「公益財団法人山田育英会奨学金」を継続して運用した。

- (4) 学部教育カリキュラムの評価を目的として、学生を対象に PROG テストを実施した。
- (5) 志願者増を図るため、オープンキャンパスを 9 回実施した。
- (6) 淡路島内にある指定された医療機関への就職を必須とする「総合型選抜 A O 型入学試験」について、受験生の選択肢を広くするため対象病院を増やした。さらに「授業料減免型」及び「授業料補助型」を継続した。
- (7) 教学マネジメントの基礎や学生支援の大切さ等を学び、学内全体で教職員や学生間で共通認識を持つ、教職員自身が当事者意識を持つことを意識づけするために、教職員全員を対象に外部講師を招いて FD・SD 研修会を実施した。
- (8) 昨年に引き続き、学祭を開催し、多くの地域住民の参加があった。
- (9) 令和 7 年度卒業生の看護師国家試験合格率は 94.3%（全国平均 88.8%）となった。
- (10) 淡路広域消防事務組合一宮分署協力のもと、大学全体での防災意識を高めるために防災訓練を実施した。

3. 学事記録

4 月	●入学式 ●前期ガイダンス ●前期授業開始 ●定期健康診断 ●オープンキャンパス
5 月	●オープンキャンパス ●創立記念日（12/5）の振替 ●防災訓練
6 月	●オープンキャンパス ●防災訓練
7 月	●前期定期試験 ●オープンキャンパス
8 月	●夏季休暇 ●オープンキャンパス
9 月	●後期ガイダンス ●後期授業開始 ●総合型選抜ＡＯ（授業料減免・補助）型入学試験 ●大学院第Ⅰ期入学試験
10 月	●オープンキャンパス ●大学祭 ●総合型選抜ＡＯ（コミュニケーション力・基礎学力重視）型入学試験
11 月	●学校推薦型選抜（指定校・公募制前期）入学試験
12 月	●冬季休暇 ●学校推薦型選抜（公募制後期）入学試験 ●病院就職説明会 ●クリスマスオープンキャンパス
1 月	●後期定期試験 ●本学を会場とした大学入学共通テスト試験の実施 ●一般選抜入学試験（前期）
2 月	●保健師・看護師・助産師国家試験
3 月	●学位記授与式 ●一般選抜入学試験（後期） ●オープンキャンパス ●大学院第Ⅱ期入学試験 ●大学入学共通テスト利用選抜入学試験

Ⅲ 財務の状況(令和7年度決算の状況)

貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書の概要は次のとおりです。

1. 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和8年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	3,859,729,212	2,116,309,142	1,743,420,070
有形固定資産	3,857,547,509	2,035,109,159	1,822,438,350
特定資産	0	78,440,000	▲78,440,000
その他の固定資産	2,181,703	2,759,983	▲578,280
流動資産	1,562,757,397	1,426,257,583	136,499,814
資産の部合計	5,422,486,609	3,542,566,725	1,879,919,884
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,642,049,522	62,641,028	1,579,408,494
流動負債	389,308,598	173,279,182	216,029,416
負債の部合計	2,031,358,120	235,920,210	1,795,437,910
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	3,341,120,006	3,319,596,311	21,523,695
第1号基本金	3,287,120,006	3,187,156,311	99,963,695
第2号基本金	0	78,440,000	▲78,440,000
第4号基本金	54,000,000	54,000,000	0
繰越収支差額	50,008,483	▲12,949,796	62,958,279
翌年度繰越収支差額	50,008,483	▲12,949,796	62,958,279
純資産の部合計	3,391,128,489	3,306,646,515	84,481,974
負債及び純資産の部合計	5,422,486,609	3,542,566,725	1,879,919,884

2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

教育活動収支		事業活動収入の部					
		科 目	予 算 額	決 算 額	差 異		
		学生生徒等納付金	682, 600, 000	682, 600, 000	0		
		手数料	5, 660, 000	6, 742, 000	▲1, 082, 000		
		寄付金	1, 500, 000	3, 017, 000	▲1, 517, 000		
		経常費等補助金	200, 000, 000	207, 896, 700	▲7, 896, 700		
		付随事業収入	18, 000, 000	15, 821, 370	2, 178, 630		
		雑収入	3, 000, 000	23, 267, 236	▲20, 267, 236		
		教育活動収入計	910, 760, 000	939, 344, 306	▲28, 584, 306		
事業活動支出の部		科 目	予 算 額	決 算 額	差 異		
		人件費	374, 500, 000	416, 873, 019	▲42, 373, 019		
		教育研究経費	295, 837, 000	293, 479, 255	2, 357, 745		
		管理経費	145, 646, 000	141, 807, 002	3, 838, 998		
		教育活動支出計	815, 983, 000	852, 159, 276	▲36, 176, 276		
		教育活動収支差額		94, 777, 000	87, 185, 030	7, 591, 970	
教育活動外収支		事業活動収入の部					
		科 目	予 算 額	決 算 額	差 異		
		受取利息・配当金	300, 000	3, 090, 689	▲2, 790, 689		
		その他の教育活動外収入	0	11, 488	▲11, 488		
		教育活動外収入計	300, 000	3, 102, 177	▲2, 802, 177		
		事業活動支出の部		借入金等利息	6, 700, 000	5, 673, 709	1, 026, 291
				教育活動外支出計	6, 700, 000	5, 673, 709	1, 026, 291
教育活動外収支差額		▲6, 400, 000	▲2, 571, 532	▲3, 828, 468			
経常収支差額		88, 377, 000	84, 613, 498	3, 763, 502			
特別収支	事業活動支出の部		科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
			資産処分差額	0	131, 524	▲131, 524	
			特別支出計	0	131, 524	▲131, 524	
	特別収支差額		0	▲131, 524	▲131, 524		
基本金組入前当年度収支差額		88, 377, 000	84, 481, 974	3, 895, 026			
基本金組入額合計		▲18, 000, 000	▲21, 523, 695	3, 523, 695			
当年度収支差額		70, 377, 000	62, 958, 279	7, 418, 721			
前年度繰越収支差額		▲12, 949, 796	▲12, 949, 796	0			
翌年度繰越収支差額		57, 427, 204	50, 008, 483	7, 418, 721			

3. 資金収支計算書

資金収支計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
学生生徒等納付金収入	682,600,000	682,600,000	0
手数料収入	5,660,000	6,742,000	▲1,082,000
寄付金収入	1,500,000	3,017,000	▲1,517,000
補助金収入	200,000,000	207,896,700	▲7,896,700
付随事業・収益事業収入	18,000,000	15,832,858	2,167,142
受取利息・配当金収入	300,000	3,090,689	▲2,790,689
雑収入	3,000,000	23,267,236	▲20,267,236
借入金等収入	1,771,440,000	1,771,440,000	0
前受金収入	156,940,000	118,670,000	38,270,000
その他の収入	82,309,028	138,955,788	▲56,646,760
資金収入調整勘定	▲160,809,028	▲150,322,318	▲10,486,710
前年度繰越支払資金	1,366,326,555	1,366,326,555	
収入の部合計	4,127,266,555	4,187,516,508	▲60,249,953
支出の部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
人件費支出	374,500,000	408,904,525	▲34,404,525
教育研究経費支出	254,837,000	249,779,774	5,057,226
管理経費支出	139,646,000	135,181,425	4,464,575
借入金等利息支出	6,700,000	5,673,709	1,026,291
施設関係支出	1,871,027,000	1,860,424,900	10,602,100
設備関係支出	11,044,000	10,741,032	302,968
資産運用支出	0	10,000	▲10,000
その他の支出	68,612,463	41,525,990	27,086,473
資金支出調整勘定	▲68,612,463	▲62,031,825	▲6,580,638
翌年度繰越支払資金	1,469,512,555	1,537,306,978	▲67,794,423
支出の部合計	4,127,266,555	4,187,516,508	▲60,249,953

4. 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

教育活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	学生生徒等納付金収入	682,600,000
		手数料収入	6,742,000
		特別寄付金収入	1,285,000
		一般寄付金収入	1,732,000
		経常費等補助金収入	207,896,700
		付随事業収入	15,821,370
		雑収入	23,267,236
		教育活動資金収入計	939,344,306
	支出	人件費支出	408,904,525
		教育研究経費支出	249,779,774
		管理経費支出	135,181,425
		教育活動資金支出計	793,865,724
	差引		145,478,582
	調整勘定等		43,613,681
教育活動資金収支差額		189,092,263	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	第 2 号基本金引当特定資産取崩収入	78,440,000
		施設整備等活動資金収入計	78,440,000
	支出	施設関係支出	1,860,424,900
		設備関係支出	10,741,032
		施設整備等活動資金支出計	1,871,165,932
	差引		▲1,792,725,932
	施設整備等活動資金収支差額		▲1,792,725,932
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		▲1,603,633,669	

その他の活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	収益事業収入	11,488
		受取利息・配当金収入	3,090,689
		借入金等収入	1,771,440,000
		預り金受入収入	5,399,308
		立替金回収収入	300,770
		仮受金受入収入	55,546
		その他の活動資金収入計	1,780,297,801
	支出	借入金等利息支出	5,673,709
		出資金支出	10,000
		その他の活動資金支出計	5,683,709
	差引		1,774,614,092
	その他の活動資金収支差額		1,774,614,092
	支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		170,980,423
	前年度繰越支払資金		1,366,326,555
	翌年度繰越支払資金		1,537,306,378

注記事項

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末要支給額 79,336,100 円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額の 100%を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

前期末残高は、預り金支出とし、当期末残高は、預り金収入としている。

2. 重要な会計方針の変更等

当年度から、学校法人会計基準の一部を改正する省令(令和 6 年文部科学省令第 28 号)に基づく改正後の学校法人会計基準(昭和 46 年文部省令第 18 号)を適用し、計算書類及びその附属明細書の様式を変更している。

3. 減価償却額の累計額の合計額 1,200,581,306 円

4. 徴収不能引当金の合計額 なし

5. 担保に供されている資産の種類及び数 土地 300,000,000 円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への繰入れを行うこととなる金額
1,772,180,512 円

7. 当該会計年度の末日において第 4 号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策

第 4 号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. セグメント情報

設定すべきセグメントが、セグメント「その他」以外に一のみであるため、省略している。

9. 重要な偶発債務 なし

10. 子法人に関する事項 なし

11. 学校法人の出資による会社に係る事項 なし

12. 関連当事者との取引の内容に関する事項 なし

13. 学校法人間の財務取引 なし

14. 重要な後発事象 なし

15. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 純額で表示した補助活動に係る収支

純額で表示した補助活動に係る収支の相殺した科目及び金額は次のとおりである。

支 出	金 額	収 入	金 額
管理経費支出 (補助活動支出)	88,928,051	補助活動収入 (売上高)	47,730,978
計	88,928,051	計	47,730,978
純 額			41,197,073

IV 収益事業会計の状況(令和7年度決算の状況)

貸借対照表及び損益計算書の概要は次のとおりです。

1. 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和8年3月31日

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	90
現金預金	352,648	預り金	90
棚卸資産	599,830		
仮払金	47,612	負債の部合計	0
		純資産の部	
		元入金	1,000,000
		純資産の部合計	1,000,000
資産の部合計	1,000,090	負債及び純資産の部	1,000,090

2. 損益計算書

損 益 計 算 書

令和 7 年 4 月 1 日から
令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科目	金額
売上高	36,150
売上原価	20,064
売上総利益	16,086
販売費及び一般管理費	0
営業利益	16,086
雑損失	4,598
学校会計組入支出	11,488
税引前当期利益	0
法人税、住民税及び事業税	0
当期純利益	0

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法を採用しております。

2. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

3. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっております。